事務事業評価資料

施策名	豊かな心を育む教育の推進			所管部局課名	教育委員会事務局義務教育課	
事業名	自然学校推進事業			担当者電話番号	初等教育係　078-362-3771	
事業目的	自然体験・宿泊体験を通して豊かな心を育成					
事業内容	全公立小学校５年生を対象に、４泊５日以上を基本として、自然学校を実施　①実施場所 南但馬自然学校、いえしま自然体験センター等　②補助対象者 市町　③補助対象経費 技術指導謝金等の自然学校推進事業に係る経費　④補助率 県1/2、市町1/2			事業開始年度	昭和63年度	

事業に要するコスト	区　分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額	
	事業費①	(541,289 千円) 541,289 千円		(558,149 千円) 568,349 千円		(497,085 千円) 515,165 千円	
	人件費②	37,439 千円	従事人員 4.2人	35,579 千円	従事人員 4.2人	35,112 千円	従事人員 4.2人
	総コスト（①＋②）	578,728 千円	従事人員 4.2人	603,928 千円	従事人員 4.2人	550,277 千円	従事人員 4.2人

事業の目標	全公立小学校５年生が、４泊５日以上の体験活動を実施	[目標設定理由] 心身ともに調和のとれた児童の育成を図るため、全公立小学校で実施

目標の達成度を示す指標	指標名	目標 目標値	目標 年度	19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率（%） H19	H20	H21
	実施校数	全校実施	毎年度	812校 (669 千円)	814校 (700 千円)	806校 (641 千円)	100%	100%	100%

評価結果		
	必要性	・新学習指導要領等において、集団宿泊活動や自然体験活動の重要性が新たに盛り込まれた。 ・規範意識の低下や物事に創意をもって取り組む意欲の低下等、近年の子ども達の課題に対応する必要がある。 ・発達段階に応じて小学校から高等学校まで体系的に体験活動を行う兵庫型体験教育の一環事業である。
	有効性	・全公立小学校で実施することで、心身ともに調和のとれた児童育成につながっており、有効な事業である。 ・社会性や自立性、生命を尊重する心の醸成など、子ども達の「生きる力」の育成に成果がある（「自然学校評価検証委員会」による報告）。 ・全国に先駆けて行っていた事業の趣旨やねらい等が、新学習指導要領に新たに盛り込まれたり、農山漁村における生活体験事業のモデルになるなど、大きな成果を挙げている。
	効率性	・節約に努めた結果、20年度については１校あたりの実施経費が減少した。 ・節目に検討委員会を設けて評価を行い、成果を踏まえるとともに、事前・事後活動の充実など新たな充実を図るなど、効率的に事業を推進している。
	民間・市町との役割分担	・県と設置者である市町で２分の１ずつ負担しているが、単独での確保が困難な実施・宿泊場所や救急員等の人材の斡旋・調整については、県が支援している。
	受益と負担の適正化	・県と設置者である市町で２分の１ずつ負担するが、食費と個人に帰する教材費は、受益者負担(保護者負担)としている。

実施方針		
	方向性	新規　拡充　(継続)　実施手法の見直し 廃止　縮小　統合　凍結(休止)　延長　終期設定
	実施手法の見直し内容	市町移譲　民間移譲　民間委託　ＰＦＩ　負担割合変更　事務改善　その他
	説明	より効果的な事業内容・執行方法について、引き続き検討の上実施